



刈谷南中学校新聞

第434号 令和7年11月 1日
刈谷市立刈谷南中学校
刈谷市住吉町2丁目1番地
電話0566-21-0025

「シンカ」しつづける刈南中 ～文化学習会～

校長 葉山 靖彦

秋も深まった10月29日。令和7年度の文化学習会が行われました。

そのスローガンは「『シンカ』～心に価値（心価）・心に火（心火）・心に華（心華）～」。

午前の合唱コンクールでは、どの学年、どの学級も思いのこもった歌声を響かせてくれました。「お互いが高め合える」「この仲間と出会えたことの喜びを感じて」と、これまでの練習をとおして仲間との絆が深まった様子もうかがえました。最優秀賞は、1年6組、2年7組、3年3組が受賞し、3年3組が11/1（土）に行われる刈谷市小中音楽会に刈南中代表として出場します。南中生全員の思いを後押しに、胸を張って歌声を響かせてくれました。



午後からの文化発表会では、文化部（音楽部・科学部・美術部・ボランティア部）、10・11・12・13・14組の発表、実行委員の企画等が行われました。趣向を凝らした発表と実行委員の取り回しのおかげで、楽しく、温かい時間を共有することができました。各発表の後のインタビュー（感想）での、発表者に対する心温まる言葉もうれしく感じました。



日程の都合で準備期間がとても短く、生徒も寸暇を惜しんで合唱の練習や発表の準備に取り組んでいました。特に、全体を運営する実行委員の皆さんは、大変だったと思います。ありがとうございました。おかげで、発表する人・観ている人・運営する人が同じ思いをもって「共創」した、素晴らしい文化学習会になりました。

研究学習会を終えて

10月8日に刈谷市教育委員会指定の研究発表会が行われました。360名を超える参加者に、これまで本校で進めてきた「共創する生徒」をテーマにした研究を発表しました。各教科で、市役所のまちづくり推進課の方、危機管理課の方、刈谷市内にチームがあるバドミントン選手など、多くの地域の方も巻き込んで、授業を共に創り上げる姿を見てもらいました。ご協力に感謝します。



一人一人の想いをつなぐ

10月18日に岡崎市龍北総合運動場で西三河中学校駅伝競走選手権大会が行われました。角度が厳しい坂、くねくねと曲がる中での下り坂、長く続く上り坂など、坂道が多く、苦しいコースですが、一人一人が強い気持ちで力走しました。昨年、このコースを走った経験のある選手も数名おり、これらの坂道を走りきる筋力や精神力の必要性を感じて、チーム練習だけでなく自主練に取り組む選手もいました。刈谷南中学校の名が刻まれたブルーの襷に、そうした一人一人の熱い想いが込められて、感動的なレースになりました。結果は、男子は惜しくも11位。女子は見事準優勝に輝きました。女子は、11月8日に行われる県駅伝大会に出場します。



達成感を感じる経験に

10月19日に刈谷市総合文化センターのみなくる広場にて、福祉・健康フェスティバル2025が開催されました。そこで出店するために、特別支援学級のみんなで分担して準備を進めてきました。1学期から育てて収穫した「ハラペーニョ」「バジル」を袋に詰めたり、こつこつと組み立て作業をしてつくった「洗濯ばさみ」や「くるみボタンのアクセサリ」のPOP(ポップ)を作ったりしました。当日は、華やかな発表のステージや多くのキッチンカーに混じって、特別支援の生徒たちが、張り切ってバザーを取り仕切っていました。準備した品物を上手におすすめしたり、お客様とお金のやりとりを丁寧にしたりして、これまでの学習の成果をしっかりと発揮しました。呼び込み係の生徒たちが「野菜は、あっという間に売れました」とうれしそうに笑顔で話してくれたことが印象に残りました。



当たり前のことは社会に出ても大切なこと

2年生は、これまで職場体験に向けて、働くことの心構えや社会に出ていくマナーなどを学んできました。また、11月5日から始まる3日間の職場体験でお世話になる事業所へ、事前訪問させていただき、当日の細かな打合せを行いました。いよいよ本番の職場体験を迎える前に、それらの学習とつなげて、「社会が求めている人物像」「働く上で大切なこと」などをテーマにアイシン学園の指導員さんによる授業を実施しました。講話やノンバーバル体験、2者選択の話し合いなどから、生徒たちの職業観や勤労観、社会人としての考え方を養う機会となりました。指導員さんからは、生徒の集中力の高さ、多様な意見交換ができる話し合いの姿に関心したという言葉いただきました。

